

【令和 7 年度版】
長野市地域公共交通計画に係る
実施計画（案）
暫定版



長野県 PR キャラクター「アルクマ」©長野県アルクマ

令和 7 年 5 月
長野市企画政策部交通政策課

目 次

1	策定の趣旨等	・・・ 3
	(1) 背景	
	(2) 計画の目的	
	(3) 計画期間	
	(4) 計画の進め方	
2	令和6年度事業実施状況	・・・ 4
	(1) 体系	
	(2) 事業内容	
3	令和7年度事業実施計画	・・・ 15
	(1) 体系	
	(2) 事業内容	
4	これまでの事業実施状況	・・・ 22
5	地域特性格公共交通再整備の考え方	・・・ 23
6	バス路線評価の詳細	・・・ 24
7	進捗管理	・・・ 27
	(1) 指標	
	① 第五次長野市総合計画	
	② 長野市公共交通ビジョン	
	③ 長野市地域公共交通計画	
	(2) 進捗管理の年間スケジュール	

1 策定の趣旨等

(1) 背景

本市は平成 27 年 6 月に、本市の地域公共交通の将来像を明らかにするとともに将来像の実現に向けた指針を示す「長野市公共交通ビジョン」（以下、交通ビジョンという）を策定しました。平成 29 年には交通ビジョンの将来像を踏まえ、形成すべき公共交通網を明らかにして、その実現を図る「長野市地域公共交通網形成計画」を策定し、地域の住民の生活に必要な移動ための交通手段の確保に努めてきました。

しかし、地域公共交通を維持するための市の負担は増加、利用は減少してきており、さらなる見直しの必要性が増しています。

このような中、国は、公共交通が地域の暮らしを支えていけるようにするため、令和 2 年に「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」を改正し、市町村がより主体的に地域公共交通を見直し、それを「地域公共交通計画」としてとりまとめていくことを求めています。

本市では、市が関与するバス及び事業者の自主路線のあり方を再考するとともに、目指すまちの形成に寄与し、各地域を維持し、バランスのとれた地域公共交通網を実現するため、令和 4 年 9 月長野市地域公共交通計画を策定しました。

(2) 計画の目的

本計画は、長野市地域公共交通計画を確実に実施していくために、各事業主体が、毎年度年次事業計画を策定し、当該年度で実施する事業内容及び目標（目標値）などを設定し、「長野市公共交通活性化・再生協議会」において審議・承認を行うことにより、計画に基づく公共交通の運行・維持、その他関連する事業をマネジメントしていくことを目的とします。

(3) 計画期間

本計画の期間は、令和 4 年度から令和 8 年度までの 5 年間としています。

(4) 計画の進め方

本計画の進捗管理については、毎年度当初（4 月～5 月）に開催される長野市公共交通活性化・再生協議会において当該年度の実施計画の審議・承認を行います。（その際、指標等の実績は、その時点での最新のものを掲載することとします。その後、夏までには確定した数値の確定版をお示しします。）

各事業主体は、承認された年次事業計画に基づき、事業を実施し、その結果について、毎年度末（3 月）に開催される協議会において報告するとともに、評価・検証及び改善点を導出し、翌年度の年次事業計画に反映させるものとします。



2 令和6年度事業実施状況

(1) 体系

方針	施策	事業	実施主体
再編方針① 地域特性に合わせた再整備	(1) 公共交通のネットワーク再構築及び運行	1) 路線再整備・運行事業	
		(ア) 拠点間路線の再整備・運行事業 幹線の再整備 準幹線の再整備 広域路線の再整備検討	R6 優先 長野市、交通事業者
(イ) 拠点内路線の再整備・運行事業 都市内輸送の再整備 地域生活拠点内輸送の再整備		R6 優先 長野市、交通事業者	
再編方針② 公共交通網（ネットワーク）とサービスレベルの維持		2) 路線維持・運行事業	
	○ 拠点間路線維持・運行事業 主要幹線の運行 幹線の運行 広域路線の運行	R6 優先 長野市、交通事業者	
		○ 拠点内路線維持・運行事業 都市内輸送の運行 都市拠点内輸送の運行・運行支援 地域生活拠点内輸送の運行・運行支援	長野市、交通事業者
維持方針① 利用しやすい環境の整備	(2) 運行環境の整備・利便性向上	1) 地域拠点内輸送の利便性改善調査	
		(ア) オンデマンド交通システム実証実験	R6 優先 長野市
		2) 利便性の高い運賃、支払方法の検討	
		(ア) 運賃設定の再検討	長野市、交通事業者
		(イ) ICカードシステムの更新	R6 優先 長野市、アルピコ交通、長電バス 等
		3) 交通結節・乗り継ぎ環境の向上	
		(ア) 交通結節・乗り継ぎ環境の向上	長野市、交通事業者、地域
		(イ) バリアフリー化の促進	長野市、交通事業者
		4) 自転車と公共交通との連携促進事業	
		(ア) 交通結節点における駐輪場の整備推進	R6 優先 長野市、交通事業者
5) 運行の安定性・定時性確保事業			
(ア) 定時制の確保	長野市、交通事業者、長野県警察		
6) 情報発信事業			
(ア) 経路検索サービスでの情報提供	R6 優先 長野市、交通事業者		

維持方針① 利用しやすい環境の整備	(2) 運行環境の整備・利便性向上	(イ) 信州ナビ・バスロケーションシステムによる情報発信と普及促進	長野県、長野市
		(ウ) バスマップ等による情報発信	長野市
維持方針② 啓発・利用促進の強化	(3) 利用促進・啓発の実施	1) 啓発事業	
		(ア) 広報等を活用した市民との公共交通の状況共有の継続的实施	長野市、住民自治協議会
		(イ) バスの乗り方教室の開催 R6 優先	長野市、交通事業者
		(ウ) 公共交通での移動を考える場の開催	長野市、地域、交通事業者
		(エ) 小中学生向け啓発用冊子の作成、配布	長野市、教育委員会、アルピコ交通、長電バス
		2) 利用促進事業	
		(ア) 「ＩＣカードKURURUの日」の設定	長野市、アルピコ交通、長電バス
		(イ) エコ通勤・エコ通学の促進 R6 優先	長野市
		(ウ) ＩＣカード利用特典の検討	長野市、アルピコ交通、長電バス 等
		(エ) 商業施設とのタイアップ	長野市、都市拠点内の民間事業者
維持方針③ 観光利用の強化		(オ) 住民自治協議会等による公共交通改善・利用促進活動への支援	住民自治協議会、長野市
		(カ) 観光客が周遊しやすいM a a Sの導入の検討	長野市、交通事業者
		(キ) コロナ対策の推進（安心の醸成）	交通事業者、長野市
	(4) 公共交通の改善活動の実施	評価・検証の実施	
		市が関与する公共交通の運行状況の把握	長野市、交通事業者、協議会
		交通事業者が運行する公共交通の状況把握	
		市が関与する公共交通の運行見直しと運行見直し基準の更新	

R6 優先 令和6年度に優先的に取り組んだ事業

(2) 令和6年度に優先的に取り組んだ事業

方 針	再編方針① 地域特性に合わせた再整備
施 策	(1) 公共交通のネットワーク再構築及び運行
事 業	1) 路線再整備・運行事業 (ア) 拠点間路線再整備・運行事業
事業内容及び目標	<p>拠点間を結ぶ地域公共交通計画 65 ページ図表 72 に示す各路線の再整備で検討する内容について、整備方針や公共交通のあり方等を検討した結果を踏まえ、再整備を行う。</p> <p>〈令和6年度実施事業〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大豆島保科温泉線 地域との情報共有及び協議を進め、令和7年度中の運行体系見直しを目指す。 ・ 屋代須坂線 利用状況等を分析し、実態に応じた運行への見直しを検討する。
令和6年度の実施内容（結果）	
<p>✓ 大豆島保科温泉線 運行体系見直しの概要について、大豆島地区、若穂地区で説明会を実施（令和7年1～2月実施）</p> <p>✓ 屋代須坂線 高校生の通学利用等に配慮しながら、利用状況等を踏まえて減便を実施（令和6年8月実施）</p>	

方 針	再編方針① 地域特性に合わせた再整備
施 策	(1) 公共交通のネットワーク再構築及び運行
事 業	1) 路線再整備・運行事業 (イ) 拠点内路線再整備・運行事業
事業内容及び目標	<p>地域公共交通計画 66・67 ページ図表 73 に示す路線の再整備で検討する内容について、整備方針や公共交通のあり方等を検討した結果を踏まえ、再整備を行う。</p> <p>地域公共交通計画 68 ページ図表 74 に示す地域生活拠点内輸送路線については、「地域生活拠点内輸送の利便性改善調査」事業の結果を踏まえて、運行方法等の見直しを行う。</p> <p>〈令和6年度実施事業〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・篠ノ井ぐるりん号 利用状況等を分析し、実態に応じた運行への見直しを検討する。 ・市バス戸隠地区（参宮線、西部線、戸隠線） 令和7年度からのA Iオンデマンド交通システムの導入、運行開始に向けた地区説明 ・市バス鬼無里地区（南鬼無里線、大望峠線、鬼無里地域振興線） 令和7年度からのA Iオンデマンド交通システムの導入、運行開始に向けた地区説明
令和6年度の取組内容（結果）	
<p>✓ 篠ノ井ぐるりん号 運行見直しに向けた検討を継続するとともに、商工会議所篠ノ井支所の要請を受けて、現状についての説明及び協議を実施（令和6年10月実施）</p> <p>✓ 市バス戸隠地区・市バス鬼無里地区 運行開始に向けた地区や学校への説明等を実施し、両地区を1つの区域としてA Iオンデマンド交通システムによる実証運行を開始（令和7年4月導入）</p> <p>✓ その他 沿線地域の要望を受けて、市街地空白型乗合タクシー路線（長沼線、豊野3線）の停留所新設や、中山間地域輸送システム路線（すずらん号）の運行ダイヤ変更等を実施</p>	

方 針	再編方針② 公共交通網（ネットワーク）とサービスレベルの維持
施 策	（１）公共交通のネットワーク再構築及び運行
事 業	2) 路線維持・運行事業 ○ 拠点間路線維持・運行事業
事業内容及び目標	<p>運転手不足による路線の減便等を余儀なくされているバス事業について、今後もバス路線を維持し、地域に不可欠な交通手段を確保するため、市内で自主路線を運行するバス事業者（アルピコ交通、長電バス）が実施する運転手確保に向けた取組を支援する。</p> <p>〈令和6年度実施事業〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 運転手確保に関する取組の推進 ・ 取組にかかる経費の一部を支援する「バス運転手確保緊急支援事業補助金」の交付
令和6年度の実施内容（結果）	
<p>✓ 運転手確保に関する取組の推進 北陸信越運輸局による「運転手のおしごと体験会」（令和6年11月開催）の運営を支援したほか、市ホームページに運転手確保に関する内容を掲載</p> <p>✓ 取組にかかる経費の一部を支援する「バス運転手確保緊急支援事業補助金」の交付 市内で一般路線バスを運行している2事業者（アルピコ交通株式会社、長電バス株式会社）の運転手確保への取組に対して補助金を交付（1事業者10,000千円）</p>	

方 針	維持方針① 利用しやすい環境の整備
施 策	(2) 運行環境の整備・利便性向上
事 業	1) 地域拠点内輸送の利便性改善調査 (ア) オンデマンド交通システム実証実験
事業内容及び目標	<p>少量輸送とならざるを得ない中山間地域において、より効率的な運行を目指して、利用者のニーズに細かく対応できるA Iを活用した予約配車システムの導入に向けた実証実験を実施する。</p> <p>その実証実験の結果を基に、移動利便性の向上と移動需要に見合った適正な運行が実現できるのかの検証を行い、地域生活拠点内輸送の利便性が向上することが見込まれる場合、本格運行への移行と他の地域への展開を推進する。</p> <p>〈令和6年度実施事業〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 戸隠地区、鬼無里地区での実証実験に向けた地元説明と準備 ・ 更なるエリア拡大に向けた他地区への情報提供
令和6年度の取組内容（結果）	
<p>✓ 市バス戸隠地区・市バス鬼無里地区 運行開始に向けた地区や学校への説明を実施し、両地区を1つの区域としてA I オンデマンド交通システムによる実証運行を開始（令和7年4月導入）</p> <p>✓ 更なるエリア拡大に向けた他地区への情報提供 現在、中山間地域輸送システムによる乗合タクシーを運行している小田切、七二会、篠ノ井信里、信更の各地区に対して、令和8年度の導入を目途に情報提供等を実施</p>	

方 針	維持方針① 利用しやすい環境の整備
施 策	(2) 運行環境の整備・利便性向上
事 業	2) 利便性の高い運賃、支払方法の検討 (イ) IC カードシステムの更新
事業内容及び目標	<p>現行のバス共通ICカード「KURURU」のシステムは導入から10年が経過し、バス車載器の老朽化、サーバーほかシステムの更新が令和6年度末までに必要となっている。</p> <p>KURURUは長野市と周辺市町村で利用できる独自カードのため、バス車載器は「Suica」等の全国で利用できるICカードに対応しておらず、来訪者が利用できないなど、利便性が低いことから、この更新時期に合わせ、「Suica」の機能を持つ地域連携ICカードを導入し、利便性の向上を図る。</p> <p>〈令和6年度実施事業〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和7年3月のサービス開始に向けた準備 <ul style="list-style-type: none"> ICカードの製造（16万枚予定）、バス車載器、窓口端末等の製造・取付け、ネットワークの構築、導入に向けた運用テスト、係員等の講習 ・ 現行KURURUからの切り替えがスムーズとなるよう広報を実施 <ul style="list-style-type: none"> 広報紙、ホームページ、バス車内広告を活用するほか、サービス内容を記載した小冊子やポスターを作成
令和6年度取組内容（結果）	
<p>✓ 導入準備とサービス開始 ICカードの製造（21万枚）、バス車載器、窓口端末等の製造・取付け、ネットワークの構築、導入に向けた運用テスト、係員等の講習、臨時窓口の開設等を実施（令和7年3月サービス開始）</p> <p>✓ サービス開始に向けた広報の実施 広報紙、ホームページ、バス車内広告のほか、マスコミや動画サイトでのCM放映、サービス内容を記載した小冊子やポスターの作成を実施</p>	

方 針	維持方針① 利用しやすい環境の整備
施 策	(2) 運行環境の整備・利便性向上
事 業	4) 自転車と公共交通との連携促進事業 (ア) 交通結節点における駐輪場の整備推進
事業内容及び目標	<p>長野市自転車活用推進計画に基づき、鉄道駅周辺や利用者が多い主要なバス停留所周辺において駐輪場整備を推進し、交通事業者と連携してサイクル&ライドを促進する。</p> <p>長野駅自転車駐車場（昭和 59 年建設）及び篠ノ井駅東口自転車駐車場（平成 8 年建設）は、公共交通の主要な結節点である鉄道駅に近接しており、駐輪需要が多いことから、自転車の利用促進を図る上でも、長寿命化改修を実施し、その機能を維持するとともに、老朽化した設備の更新等を行い、より快適に利用いただける環境整備を進める。</p> <p>〈令和 6 年度実施事業〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 篠ノ井駅西口自転車駐車場整備工事の実施 ・ 長寿命化への取組として、篠ノ井駅東口自転車駐車場で規模改修工事、長野駅自転車駐車場大規模改修設計委託の実施 ・ 川中島駅自転車駐車場照明のＬＥＤ化（令和 5 年度未実施分） ・ 市営自転車駐車場へのサイクルスタンドの整備等、利用環境の改善
令和 6 年度の取組内容（結果）	
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 篠ノ井駅西口自転車駐車場整備工事の実施 ✓ 篠ノ井駅東口自転車駐車場で規模改修工事の実施 ✓ 長野駅自転車駐車場大規模改修設計委託の実施 ✓ 川中島駅自転車駐車場照明のＬＥＤ化（令和 5 年度未実施分） ✓ 市営自転車駐車場へのサイクルスタンドの整備等、利用環境の改善 	

方 針	維持方針① 利用しやすい環境の整備
施 策	(2) 運行環境の整備・利便性向上
事 業	6) 情報発信事業 (ア) 経路検索サービスでの情報提供
事業内容及び目標	<p>バスの運行情報を、GTF S-J Pといったファイル形式で作成し、オープンデータ化し広く活用できるようにすることで、グーグル等において経路検索が可能となるなど、インターネットの検索事業者によるバス路線の可視化が可能となるが、現在、オープンデータ化されている路線は、中心市街地循環バス「ぐるりん号」等一部の路線に限られている。</p> <p>経路検索サービス等が利用できるよう、オープンデータ化を実施するとともに、そのオープンデータを活用した様々な情報提供の検討を進め、バス路線の利用促進を図る。</p> <p>〈令和6年度実施事業〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オープンデータ化したバス路線情報の随時更新 ・デジタルサイネージによるバス路線運行情報の提供等、オープンデータを活用した事業の検討
令和6年度 of 取組内容（結果）	
<ul style="list-style-type: none"> ✓ オープンデータ化したバス路線情報の随時更新 運行形態の変更等に応じて情報の随時更新を実施 ✓ デジタルサイネージによるバス路線運行情報の提供等、オープンデータを活用した事業の検討 長野駅へのデジタルサイネージ設置に向けて、関係機関との協議等を実施 	

方 針	維持方針② 啓発・利用促進の強化
施 策	(3) 利用促進・啓発の実施
事 業	1) 啓発事業 (イ) バスの乗り方教室の開催
事業内容及び目標	<p>「利用経験の有無」が、移動手段に公共交通が選ばれる重要な分岐ポイントであることから、市内の小学校、住民自治協議会に呼びかけ、小学生、高齢者を対象に公共交通の乗り方などの情報を提供する「バスの乗り方教室」を開催するとともに、家族で路線バスを利用するきっかけづくりとしてもらうため、バスの乗り方教室に参加した小学生を対象に、バス無料チケットの配布を実施する。</p> <p>〈令和6年度実施事業〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学2年生を対象とした「バスの乗り方教室」の実施（20校予定） ・ 乗り方教室に参加した小学生へのバス無料チケットの配布
令和6年度の実施内容（結果）	
<p>✓ 小学2年生を対象とした「バスの乗り方教室」の実施 「バスの乗り方教室」を市内15校で実施</p> <p>✓ 乗り方教室に参加した小学生へのバス無料チケットの配布 市内15校に 900枚を配布（うち、使用枚数は 86枚）</p>	

方 針	維持方針② 利用しやすい環境の整備
施 策	(3) 利用促進・啓発の実施
事 業	2) 利用促進事業 (イ) エコ通勤、エコ通学の促進
事業内容及び目標	<p>「ながのスマート通勤応援事業」として、自家用車から環境負荷が少ない電車やバス、自転車などに、自発的に転換を促す「エコ通勤」や、時差出勤やフレックスタイムの導入による「オフピーク通勤」の普及・啓発を進め、地域公共交通の維持・確保及び通勤時間帯の渋滞緩和を図る。</p> <p>なお、実施主体は、長野市公共交通活性化・再生協議会、取組等の検討・決定は「エコ通勤推進部会」とする。</p> <p>〈令和6年度実施事業〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内企業への「エコ通勤」等の普及に向けた関係機関との連携 ・広告媒体を活用した啓発活動の実施 ・パークアンドライド等「エコ通勤」促進に向けた取組の検討、社会実験等の実施
令和6年度の実施内容（結果）	
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 市内企業への「エコ通勤」等の普及に向けた関係機関との連携 ✓ 広告媒体を活用した啓発活動の実施 FMぜんこうじでのラジオCM放送（令和7年2月～3月）による広報啓発を実施 ✓ パークアンドライド等「エコ通勤」促進に向けた取組の検討、社会実験等の実施 公共交通と組み合わせた通勤・通学を推進するため、鉄道駅における自転車駐車場の改修等を実施 	

3 令和7年度事業実施計画

(1) 体系

方針	施策	事業	実施主体
再編方針① 地域特性に合わせた再整備	(1) 公共交通のネットワーク再構築及び運行	1) 路線再整備・運行事業	
		(ア) 拠点間路線の再整備・運行事業 幹線の再整備 準幹線の再整備 広域路線の再整備検討	R7 優先 長野市、交通事業者
(イ) 拠点内路線の再整備・運行事業 都市内輸送の再整備 地域生活拠点内輸送の再整備		R7 優先 長野市、交通事業者	
再編方針② 公共交通網（ネットワーク）とサービスレベルの維持		2) 路線維持・運行事業	
	○ 拠点間路線維持・運行事業 主要幹線の運行 幹線の運行 広域路線の運行	R7 優先 長野市、交通事業者	
		○ 拠点内路線維持・運行事業 都市内輸送の運行 都市拠点内輸送の運行・運行支援 地域生活拠点内輸送の運行・運行支援	長野市、交通事業者
維持方針① 利用しやすい環境の整備	(2) 運行環境の整備・利便性向上	1) 地域拠点内輸送の利便性改善調査	
		(ア) オンデマンド交通システム実証実験	R7 優先 長野市
		2) 利便性の高い運賃、支払方法の検討	
		(ア) 運賃設定の再検討	長野市、交通事業者
		(イ) ICカードシステムの更新	長野市、アルピコ交通、長電バス 等
		3) 交通結節・乗り継ぎ環境の向上	
		(ア) 交通結節・乗り継ぎ環境の向上	R7 優先 長野市、交通事業者、地域
		(イ) バリアフリー化の促進	長野市、交通事業者
		4) 自転車と公共交通との連携促進事業	
		(ア) 交通結節点における駐輪場の整備推進	R7 優先 長野市、交通事業者
5) 運行の安定性・定時性確保事業			
(ア) 定時制の確保	長野市、交通事業者、長野県警察		
6) 情報発信事業			
(ア) 経路検索サービスでの情報提供	R7 優先 長野市、交通事業者		

維持方針① 利用しやすい環境の整備	(2) 運行環境の整備・利便性向上	(イ) 信州ナビ・バスロケーションシステムによる情報発信と普及促進	長野県、長野市
		(ウ) バスマップ等による情報発信	長野市
維持方針② 啓発・利用促進の強化	(3) 利用促進・啓発の実施	1) 啓発事業	
		(ア) 広報等を活用した市民との公共交通の状況共有の継続的实施	長野市、住民自治協議会
		(イ) バスの乗り方教室の開催 R7 優先	長野市、交通事業者
		(ウ) 公共交通での移動を考える場の開催	長野市、地域、交通事業者
		(エ) 小中学生向け啓発用冊子の作成、配布	長野市、教育委員会、アルピコ交通、長電バス
		2) 利用促進事業	
		(ア) 「ＩＣカードKURURUの日」の設定 R7 優先	長野市、アルピコ交通、長電バス
		(イ) エコ通勤・エコ通学の促進 R7 優先	長野市
		(ウ) ＩＣカード利用特典の検討	長野市、アルピコ交通、長電バス 等
		(エ) 商業施設とのタイアップ	長野市、都市拠点内の民間事業者
維持方針③ 観光利用の強化		(オ) 住民自治協議会等による公共交通改善・利用促進活動への支援	住民自治協議会、長野市
		(カ) 観光客が周遊しやすいM a a Sの導入の検討	長野市、交通事業者
		(キ) コロナ対策の推進（安心の醸成）	交通事業者、長野市
	(4) 公共交通の改善活動の実施	評価・検証の実施	
		市が関与する公共交通の運行状況の把握	長野市、交通事業者、協議会
		交通事業者が運行する公共交通の状況把握	
		市が関与する公共交通の運行見直しと運行見直し基準の更新	

R7 優先 令和7年度に優先的に取り組む事業

(2) 令和7年度に優先的に取り組む事業

方 針	再編方針① 地域特性に合わせた再整備
施 策	(1) 公共交通のネットワーク再構築及び運行
事 業	1) 路線再整備・運行事業 (ア) 拠点間路線再整備・運行事業
事業内容及び目標	<p>拠点間を結ぶ地域公共交通計画 65 ページ図表 72 に示す各路線の再整備で検討する内容について、整備方針や公共交通のあり方等を検討した結果を踏まえ、再整備を行う。</p> <p>〈令和7年度実施事業〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大豆島保科温泉線 地域との情報共有及び協議を進め、令和7年度中の運行体系見直しを目指す。 ・屋代須坂線 利用状況等を分析し、実態に応じた運行への見直しを検討する。

方 針	再編方針① 地域特性に合わせた再整備
施 策	(1) 公共交通のネットワーク再構築及び運行
事 業	1) 路線再整備・運行事業 (イ) 拠点内路線再整備・運行事業
事業内容及び目標	<p>地域公共交通計画 66・67 ページ図表 73 に示す路線の再整備で検討する内容について、整備方針や公共交通のあり方等を検討した結果を踏まえ、再整備を行う。</p> <p>地域公共交通計画 68 ページ図表 74 に示す地域生活拠点内輸送路線については、「地域生活拠点内輸送の利便性改善調査」事業の結果を踏まえて、運行方法等の見直しを行う。</p> <p>〈令和7年度実施事業〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・篠ノ井ぐるりん号 利用状況等を分析し、実態に応じた運行への見直しを検討する。 ・中山間地域輸送システム（かつら号、新じんば号、すずらん号、のぶさと号） 令和8年度からのA I オンデマンド交通システムの導入、運行開始に向けた地区説明

方 針	再編方針② 公共交通網（ネットワーク）とサービスレベルの維持
施 策	（１）公共交通のネットワーク再構築及び運行
事 業	2) 路線維持・運行事業 ○ 拠点間路線維持・運行事業
事業内容及び目標	<p>運転手不足と事業者の経営判断による、幹線（牟礼線、県道戸隠線、鬼無里線、高府線、新町大原橋線）、準幹線（篠ノ井新町線）の廃止方針を受けて、地域に不可欠な代替交通手段を確保する。</p> <p>〈令和７年度実施事業〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 代替手段となる乗合タクシー、市バスの運行に向けた地区説明 ・ 乗合タクシー等運行事業者との調整、市バス運行に使用する車両の確保 ・ 乗合タクシーの運行開始（令和７年１０月予定） ・ 市バスの運行開始（令和８年４月予定）

方 針	維持方針① 利用しやすい環境の整備
施 策	（２）運行環境の整備・利便性向上
事 業	1) 地域拠点内輸送の利便性改善調査 (ア) オンデマンド交通システム実証実験
事業内容及び目標	<p>少量輸送とならざるを得ない中山間地域において、より効率的な運行を目指して、利用者のニーズに細かく対応できるＡＩを活用した予約配車システムの導入に向けた実証実験を実施する。</p> <p>その実証実験の結果を基に、移動利便性の向上と移動需要に見合った適正な運行が実現できるのかの検証を行い、地域生活拠点内輸送の利便性が向上することが見込まれる場合、本格運行への移行と他の地域への展開を推進する。</p> <p>〈令和７年度実施事業〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小田切地区、七二会地区、篠ノ井信里地区、信更地区での実証実験に向けた地元説明と準備 ・ 更なるエリア拡大に向けた他地区への情報提供

方 針	維持方針① 利用しやすい環境の整備
施 策	(2) 運行環境の整備・利便性向上
事 業	3) 交通結節・乗り継ぎ環境の向上 (ア) 交通結節・乗り継ぎ環境の向上
事業内容及び目標	<p>大豆島保科温泉線の運行体系見直しに併せて、同路線を含む複数のバス路線等が結節する信濃川田駅の未利用地に、パークアンドバスライド用駐車場を整備する。</p> <p>〈令和7年度実施事業〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信濃川田駅パークアンドバスライド用駐車場整備工事の実施

方 針	維持方針① 利用しやすい環境の整備
施 策	(2) 運行環境の整備・利便性向上
事 業	4) 自転車と公共交通との連携促進事業 (ア) 交通結節点における駐輪場の整備推進
事業内容及び目標	<p>長野市自転車活用推進計画に基づき、鉄道駅周辺や利用者が多い主要なバス停留所周辺において駐輪場整備を推進し、交通事業者と連携してサイクル&ライドを促進する。</p> <p>長野駅自転車駐車場（昭和59年建設）及び篠ノ井駅東口自転車駐車場（平成8年建設）は、公共交通の主要な結節点である鉄道駅に近接しており、駐輪需要が多いことから、自転車の利用促進を図る上でも、長寿命化改修を実施し、その機能を維持するとともに、老朽化した設備の更新等を行い、より快適に利用いただける環境整備を進める。</p> <p>〈令和7年度実施事業〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長野駅自転車駐車場の長寿命化大規模改修工事 ・今井駅西口、豊野駅北口、信濃浅野駅の各自転車駐車場の照明改修工事 ・市営自転車駐車場へのサイクルスタンドの整備等、利用環境の改善

方 針	維持方針① 利用しやすい環境の整備
施 策	(2) 運行環境の整備・利便性向上
事 業	6) 情報発信事業 (ア) 経路検索サービスでの情報提供
事業内容及び目標	<p>バスの運行情報を、G T F S - J P といったファイル形式で作成し、オープンデータ化し広く活用できるようにすることで、グーグル等において経路検索が可能となるなど、インターネットの検索事業者によるバス路線の可視化が可能となるが、現在、オープンデータ化されている路線は、中心市街地循環バス「ぐるりん号」等一部の路線に限られている。</p> <p>経路検索サービス等が利用できるよう、オープンデータ化を実施するとともに、そのオープンデータを活用した様々な情報提供の検討を進め、バス路線の利用促進を図る。</p> <p>〈令和7年度実施事業〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オープンデータ化したバス路線情報の随時更新 ・バス路線運行情報等を提供するデジタルサイネージの長野駅への設置

方 針	維持方針② 啓発・利用促進の強化
施 策	(3) 利用促進・啓発の実施
事 業	1) 啓発事業 (イ) バスの乗り方教室の開催
事業内容及び目標	<p>「利用経験の有無」が、移動手段に公共交通が選ばれる重要な分岐ポイントであることから、市内の小学校、住民自治協議会に呼びかけ、小学生、高齢者を対象に公共交通の乗り方などの情報を提供する「バスの乗り方教室」を開催するとともに、家族で路線バスを利用するきっかけづくりとしてもらうため、バスの乗り方教室に参加した小学生を対象に、バス無料チケットの配布を実施する。</p> <p>〈令和7年度実施事業〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学2年生を対象とした「バスの乗り方教室」の実施（15校予定） ・高齢者を対象とした「バスの乗り方教室」の実施（10回予定） ・乗り方教室に参加した小学生へのバス無料チケットの配布

方 針	維持方針② 利用しやすい環境の整備
施 策	(3) 利用促進・啓発の実施
事 業	2) 利用促進事業 (ア) 「ICカードKURURUの日」の設定
事業内容及び目標	<p>令和7年3月から運用を開始した新しい「KURURU」の利用促進を図るため、「KURURU」をバス車載器にタッチすることで運賃が一律100円となる「KURURU100円の日」を設定する。</p> <p>〈令和7年度実施事業〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「KURURU100円の日」の実施（令和8年3月の日曜日に1日間実施予定） ・実施効果等の分析・検証

方 針	維持方針② 利用しやすい環境の整備
施 策	(3) 利用促進・啓発の実施
事 業	2) 利用促進事業 (イ) エコ通勤、エコ通学の促進
事業内容及び目標	<p>「ながのスマート通勤応援事業」として、自家用車から環境負荷が少ない電車やバス、自転車などに、自発的に転換を促す「エコ通勤」や、時差出勤やフレックスタイムの導入による「オフピーク通勤」の普及・啓発を進め、地域公共交通の維持・確保及び通勤時間帯の渋滞緩和を図る。</p> <p>なお、実施主体は、長野市公共交通活性化・再生協議会、取組等の検討・決定は「エコ通勤推進部会」とする。</p> <p>〈令和7年度実施事業〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラジオ等を通じたスポット広告を実施 ・電車への中吊り広告掲示 ・通勤時間帯の渋滞状況調査 ・スマート通勤周知用チラシの作成

4 これまでの事業実施状況

◎:重点・○:実施・△:準備・検討

施策	事業	主な内容	実施状況				
			R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
(1) 公共交通のネットワーク再構築及び運行	1) 路線再整備・運行事業	(ア) 拠点間路線再整備・運行事業 幹線の再整備 準幹線の再整備 広域路線の再整備検討	○	◎	◎	◎	
		(イ) 拠点内路線再整備・運行事業 都市内輸送の再整備 地域生活拠点内輸送の再整備	○	◎	◎	◎	
	2) 路線維持・運行事業	○ 拠点間路線路線維持・運行事業 主要幹線の運行 幹線の運行 広域路線の運行	○	○	◎	◎	
		○ 拠点内路線維持・運行事業 都市内輸送の運行 都市拠点内輸送の運行・運行支援 地域生活拠点内輸送の運行・運行支援	○	○	○		
(2) 運行環境の整備・利便性向上	1) 地域拠点内輸送の利便性改善調査	(ア) オンデマンド交通システム実証実験	○	◎	◎	◎	
	2) 利便性の高い運賃、支払方法の検討	(ア) 運賃設定の再検討	△	△	△		
		(イ) ICカードシステムの更新	△	◎	◎		
	3) 交通結節、乗り継ぎ環境の向上	(ア) 交通結節・乗り継ぎ環境の向上	○	○	○	◎	
		(イ) バリアフリー化の促進	○	○	○		
	4) 自転車と公共交通との連携促進事業	(ア) 交通結節点における駐輪場の整備推進	○	◎	◎	◎	
	5) 運行の安定性・定時性確保事業	(ア) 定時性の確保	○	○	○		
	6) 情報発信事業	(ア) 経路検索サービスでの情報提供	△	◎	◎	◎	
		(イ) 信州ナビ・パスロケーションシステムによる情報発信と普及促進	○	○	○		
		(ウ) バスマップ等による情報発信	○	○	○		
(3) 利用促進・啓発の実施	1) 啓発事業	(ア) 広報等を活用した市民との公共交通の状況共有の継続的实施	○	○	○		
		(イ) バスの乗り方教室の開催	◎	◎	◎	◎	
		(ウ) 公共交通での移動を考える場の開催	○	○	○		
		(エ) 小中学生向け啓発用冊子の作成、配布	○	○	○		
	2) 利用促進事業	(ア) 「ICカードKURURUの日」の設定	○	◎	△	◎	
		(イ) エコ通勤、エコ通学の促進	○	◎	◎	◎	
		(ウ) ICカード利用特典の検討	○	△	△		
		(エ) 商業施設とのタイアップ	○	○	○		
		(オ) 住民自治協議会等による公共交通改善・利用促進活動への支援	○	○	○		
		(カ) 観光客が周遊しやすいMaaSの導入の検討	○	○	○		
		(キ) コロナ対策の推進(安心の醸成)	○	○	○		
の(4) 改善活動の公共交通実施	評価・検証の実施	市が関与する公共交通の運行状況の把握	○	○	○		
		交通事業者が運行する公共交通の状況把握	○	○	○		
		市が関与する公共交通の運行見直しと運行見直し基準の更新	○	○	○		

5 地域特性格公共交通再整備の考え方

地域公共交通計画において「地域特性に合わせた再整備」として掲げた取組のうち、路線等個別の見直しに当たっての方針となる重要な考え方を再掲します。

地域	公共交通の種類	再整備の考え方
都市機能が集中している平坦部	生活拠点から広域拠点や地域拠点、交通結節点などの鉄道駅から郊外の生活関連施設への移動を担保する公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ・効率的な都市運営を行うため「必要不可欠な社会基盤」と位置づける ・市民や来訪者の様々な移動を担保する ・交通事業者及び行政がその再整備に主体的に取り組む ・主に鉄道や路線バスがその移動を担う
	生活拠点内の移動を担保する公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車など多くの代替移動手段がある中においては「社会基盤」ではあるものの「必要不可欠」な状況になっていない公共交通であることを前提とする ・この公共交通を維持していくためには、市民の積極的な利用が不可欠 ・再整備において地元住民（自治協議会）や地域の NPO 法人等の協力のもと行っていく ・路線バスやコミュニティバス、タクシー、自転車など様々な手段を用い、その移動を担う
中山間地域	広域拠点や地域拠点への移動を担保する公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が自立的に生活する上で「必要不可欠な社会基盤」と位置づける ・一部来訪者の観光移動も担う ・交通事業者及び行政がその再整備に主体的に取り組む ・主に路線バスがその移動を担う
	地域内移動（生活中心地内移動）を担保する公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ・地域生活に必要な「必要不可欠な社会基盤」と位置づける ・需要量が極端に少なく、再整備においても地元住民（自治協議会）や地域の NPO 法人等の協力が欠かせない ・地域と行政が協働し再整備を行う ・コミュニティバスやタクシー、移送サービスなどがその移動を担う

6 バス路線評価の詳細

(1) 市が関与するバス路線

① 評価手法

- ・対象路線の抽出：前年の利用実績等から毎年度改善が必要な路線を抽出
- ・見直し内容：運行方法、運行経路、運行便数（時間帯）
- ・見直し方法：見直し基準となるデータを整理した後、路線関係者と共有データに基づき、関係者内で改善案を検討
- ・見直し期間：地域の実情に応じて、検討期間、見直し案実施時期を決定

② バス路線の利用状況及び評価 図表1のとおり（参考として年間利用者数を記載）

図表1 バス路線の状況（市が関与する路線）

路線 種別	路線名	事業主体	年間利用者数(人)					R7の取組状況	備 考	再編 対象
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度			
B 幹 線	大豆島保科温泉線	長野市	135,302	122,252	130,855	135,423	135,030	運行体系見直しの実施	廃止路線代替バス	●
C 準 幹 線	篠ノ井新町線	長野市 (アルピコ交通)	14,235	13,792	13,642	9,382	9,324	令和7年9月末運行事業者撤退に伴う代替手段の運行	廃止路線代替バス	●
	西裾花台団地線	長野市 (アルピコ交通)	18,221	17,495	18,100	18,466	15,706		廃止路線代替バス (令和5年度までは川後線)	●
D 広 域 路 線	屋代須坂線	長野市 (長電バス)	206,507	202,833	208,107	213,967	214,223	利用状況を踏まえた運行形態見直しの検討	地域間幹線系統	●
	綿内屋島線	長野市 (長電バス)	49,846	44,534	46,794	55,581	61,081			●
E 都 市 内 輸 送	北屋島線	長野市 (アルピコ交通)	129,400	134,600	125,151	124,775	124,142		廃止路線代替バス	●
	犀北団地線	長野市 (アルピコ交通)	80,600	79,200	70,354	69,718	69,489		廃止路線代替バス	●
	小市線	長野市 (アルピコ交通)	13,400	13,900	13,134	12,896	9,539		廃止路線代替バス	●
	松代篠ノ井線	長野市 (アルピコ交通)	7,830	6,392	5,892	6,213	5,773		廃止路線代替バス	●
G 地 域 生 活 拠 点 内 輸 送	赤柴線	アルピコタクシー	2,949	3,442	4,654	4,316	3,859		廃止路線代替バス	●
	金井山線(東口線)	長野市 (アルピコ交通)	34,864	34,356	35,234	34,494	26,848		廃止路線代替バス	●
	篠ノ井ぐるりん号	長野市 (アルピコ交通)	7,973	7,109	7,572	8,053	8,324	利用状況を踏まえた運行形態見直しの検討		●
	東北ぐるりん号	長野市 (長電バス)	15,801	19,589	20,511	21,018	20,967			●
	すざくら号	芋井地区 住民自治協議会	136	111	97	82	69	地域とデマンド化に向けた意見交換		●
	新じんば号	七二会地区 住民自治協議会	2,493	2,235	1,950	2,107	2,120	地域とデマンド化に向けた協議		●
	あさかわ号	浅川地区 住民自治協議会	2,899	2,840	2,591	2,784	2,026	地域とデマンド化に向けた意見交換		●
	かつら号	小田切地区 住民自治協議会	491	339	311	590	1,514	地域とデマンド化に向けた協議		●
	すずらん号	信更地区 住民自治協議会	48	36	31	33	111	地域とデマンド化に向けた協議		●
	のぶさと号	信里バス 運行委員会	1,132	1,081	1,020	873	792	地域とデマンド化に向けた協議		●
	戸隠地区	長野市	8,873	8,183	7,404	6,648	5,915	鬼無里地区との統合によるデマンド運行移行後の検証	フィーダー系路線	●
	鬼無里地区	長野市	3,462	3,456	3,572	2,516	2,354	戸隠地区との統合によるデマンド運行移行後の検証	フィーダー系路線	●

路線 種別	路線名	事業主体	年間利用者数(人)					R7の取組状況	備 考	再編 対象
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度			
G 地域生活拠点内輸送	大岡地区	長野市	2,787	3,011	3,303	3,841	—		令和5年度未廃止	●
	大岡地区 (ハッピー号)	長野市	8,006	8,168	6,554	6,969	8,049			●
	信州新町地区	長野市	15,054	13,882	13,535	21,075	19,913	中条地区との統合によるデマンド運行移行後の検証	フィーダー系路線	●
	中条地区	長野市	8,574	8,164	7,580	7,763	7,076	信州新町地区との統合によるデマンド運行移行後の検証	フィーダー系路線	●
I その他	松代観光地線	アルピコタクシー	68	172	252	206	190		季節運行	●
	茶臼山動物園線	長野市 (アルピコ交通)	1,375	1,927	2,737	2,853	—		季節運行 令和5年度で廃止 (動物園送迎バスに移行)	●
F 点内都市輸送	中心市街地循環バス 「ぐるりん号」	長野市	110,238	97,558	131,614	138,022	106,844		令和6年4月から減便 (長電バス単独運行に移行)	
G 地域生活拠点内輸送	長沼線	長野タクシー	2,256	3,086	4,000	3,475	4,047			
	大室・松代西条線	アルピコタクシー	1,738	1,295	1,307	1,214	1,167			
	横田塩崎線	アルピコタクシー	2,354	2,068	2,441	2,660	2,428			
	綿内線	豊野タクシー	874	970	1,217	1,063	1,473			
	川中島線	アルピコタクシー	3,719	3,457	3,771	4,134	4,550			
	西長野上松線	長電タクシー	3,477	3,759	3,776	3,687	3,448			
	若里更北線	アルピコタクシー	3,278	3,320	3,660	3,760	3,926			
	豊野3線	豊野タクシー	5,142	5,050	5,928	5,991	5,842			
	篠ノ井共和線	アルピコタクシー	1,618	1,361	1,439	1,454	1,884		フィーダー系路線	
	安茂里線	アルピコタクシー	3,555	3,301	3,192	3,181	3,236		フィーダー系路線	

(2) 民間バス路線

① 評価手法

民間バス路線は交通事業者の責任において運行している性質上、その評価・改善は当該交通事業者が主体的に行うことになります。

しかし、民間バス路線も本市の公共交通網を形成する重要な路線です。よって、協議会において一体的に公共交通網をマネジメントしていくために、民間バス路線の利用状況や今後の見通し等を協議会において定期的に共有します。これにより、公共交通網の全体最適及び維持に向けた議論を行う土台を形成します。

② バス路線の利用状況及び評価 図表2のとおり（参考として年間利用者数を記載）

図表2 バス路線の状況(民営バス路線)

路線 種別	路線名	事業主体	年間利用者数(人)					備 考	再編 対象
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
E 内都市輸送	網島線、田牧線、紙屋線	アルピコ交通							●
F 拠点都市輸送	北原篠ノ井線、三本柳線、稲里循環線	アルピコ交通							●




路線 種別	路線名	事業主体	年間利用者数(人)					備 考	再編 対象
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
幹 A 線 主要	松代線	アルピコ交通							
	平林線	長電バス	345,006	374,936	376,674	413,696			
B 幹 線	県道戸隠線	アルピコ交通						地域間幹線系統(令和7年9月末廃止予定)	
	鬼無里線	アルピコ交通						地域間幹線系統(令和8年3月末廃止予定)	
	ループ橋経由戸隠線	アルピコ交通							
	新町大原橋線	アルピコ交通						地域間幹線系統(令和8年3月末廃止予定)	
	高府線	アルピコ交通						地域間幹線系統(令和8年3月末廃止予定)	
	若槻団地線	アルピコ交通							
E 都 市 内 輸 送	西条線	アルピコ交通							
	東長野病院線	長電バス	312,932	349,531	332,206	343,699			
	浅川西条線	長電バス	294,420	269,094	372,314	403,157			
	運動公園線	長電バス	45,245	56,269	42,299	43,352			
	三才線	長電バス	89,114	110,008	84,131	81,802			
	浅川西条市民病院線	長電バス	1,585	1,534	1,919	1,922			
	三才東長野病院線	長電バス	343	276	471	530			
	マユミダ三才線	長電バス	80,532	101,422	74,020	69,125			
	丹波島線	アルピコ交通							
	合同庁舎線	アルピコ交通							
	牟礼線	長電バス	148,905	160,787	163,610	171,572		地域間幹線系統(令和7年9月末廃止予定)	
	日赤線	アルピコ交通							
F 都 市 拠 点 内 輸 送	日赤線	長電バス	54,019	66,442	51,241	53,531			
	運転免許センター篠ノ井線	アルピコ交通							
	善光寺線(びんずる号)	アルピコ交通							
	奥裾花線	アルピコ交通						季節運行	
I 他 その									

7 進捗管理

(1) 指標一覧

① 第五次長野市総合計画

【アンケート指標】

指標名	指標値				
公共交通の利用により、市内を移動できる環境が整っている 【環境に対する回答】	現状値 (R3)	34.1%		目標値 (R8)	
	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	30.9%	23.4%	25.2		
通勤、通学、通院などの移動手段として、公共交通機関を日常的に利用している 【回答者の実践状況】	現状値 (R3)	20.4%		目標値 (R8)	
	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	20.6%	20.7%	21.3		
公共交通を、自らの暮らしや地域を維持するために必要なものであると理解し、支えていこうと心がけている 【回答者の実践状況】	現状値 (R3)	48.7%		目標値 (R8)	
	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	48.5%	49.7%	49.2		

【統計指標】

公共交通利用回数 市民一人当たりのバス・鉄道などの公共交通機関を利用した回数	現状値 (R2)	100.7 回/人		目標値 (R8)	137 回/人
	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	115.5 回/人	120.9 回/人	(未確定)		

② 長野市公共交通ビジョン

公共交通のカバー圏域人口の割合 (鉄道 600m バス 300m 圏内)	現状値 (H25)	84.4%		目標値 (R6)	86%
	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	令和8年度に調査				
バスサービスについての満足度	現状値 (H25)	28.1%		目標値 (R6)	40%
	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	令和8年度に調査				

③ 長野市地域公共交通計画

市内の駅 1 日あたり乗車人員 (JR 線)	現状値 (R 元)	36,014 人/日		目標値 (R 8)	36,014 人/日
	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 8 年度
	31,406 人	33,178 人	(未確定)		
市内の駅 1 日あたり乗車人員 (しなの鉄道)	現状値 (R 元)	7,927 人/日		目標値 (R 8)	7,927 人/日
	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 8 年度
	6,730 人	6,663 人	(未確定)		
市内の駅 1 日あたり乗車人員 (長野電鉄)	現状値 (R 元)	14,782 人/日		目標値 (R 8)	14,782 人/日
	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 8 年度
	12,649 人	13,270 人	(未確定)		
民間事業者路線バス、市が関与する バス等の利用者数	現状値 (R 元)	7,599 千人		目標値 (R 8)	7,599 千人
	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 8 年度
	5,151 千人	5,391 千人	(未確定)		
公共交通に対する公的負担額	現状値 (R 4)	3 億 6,800 万円		目標値 (R 8)	3 億 6,800 万円 未満
	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 8 年度
	3 億 6,000 万円	3 億 6,000 万円	(集計中)		
市が運行する公共交通の収支率	現状値 (R 元)	31.0%		目標値 (R 8)	31.0%
	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 8 年度
	35.0%	41.0%	(集計中)		

(2) 進捗管理の年間スケジュール

本計画の進捗管理については、下記のマネジメントサイクルにより行います。

PDCA	内 容	時期
計画作成	本計画及び前年度評価・検証結果にもとづいて年次事業計画を策定 年次事業計画は、協議会において審議・承認する	4～5 月
実施・共有	年次事業計画に基づき事業を実施 運行状況／事業実施状況の共有	通年 10 月
評価・検証	バス路線評価：利用状況（OD、利用者数／乗車密度）等から各路線の課題を 導出 その他の事業評価：事業の進捗／目標値等から当該事業の課題を導出	3～4 月
改善案導出	評価・検証で明らかになった課題をもとに次年度以降の改善策を導出 次年度の年次事業計画へ反映	4～5 月



令和7年度版 長野市地域公共交通計画に係る実施計画(案) 暫定版

令和7年5月

長野市企画政策部交通政策課

〒380-8512 長野市大字鶴賀緑町1613 番地